

社会医療法人大雄会 様

医療現場の安全・安心を支える設備保全DXを推進し、年間220時間を削減
紙管理やExcel転記作業から脱却。点検精度の向上と、設備トラブルの予防を両立

総合大雄会病院など4つの医療施設を運営している社会医療法人の大雄会。同法人では、電気・ガス・水道の使用量を含む各施設の設備点検を毎日、紙とExcelで記録・管理していたが、手入力によるミスや作業負担が大きな課題となっていた。そこで、院長主導のもと開催しているIT活用の勉強会をきっかけに、Platioで「施設管理アプリ」を作成し、現場での運用を開始。手書き作業がゼロになったことで、点検精度の向上、トラブルの予兆把握、業務効率化を同時に実現した。設備の安定稼働は医療現場の安全・安心に直結するという意識のもと、設備保全業務のDXを推進している。

課題・目的

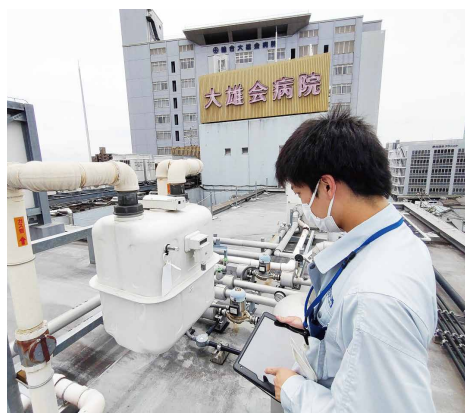
- 節電・節水や設備保全のため、2名体制で毎日計6時間かけ、各施設の点検記録を実施
- 点検結果は紙に記録し、Excelに転記して管理していたが、二重入力の手間と入力ミスのリスクがあった
- 現場で過去の点検履歴を確認したい場合でも、紙ベースの運用は即時の参照が難しい
- 異常値はトラブルの予兆と捉えられるため、早期に検知できる仕組みの整備が求められていた

選定ポイント

- 現場ではモバイル端末に入力、事務所ではパソコンでのデータ管理など、シーンに応じたデータ活用が可能
- ITの専門的なスキルがなくてもノーコードで容易にアプリを作成できる
- 実際にアプリを運用しながら、現場での使い勝手を踏まえて対話を重ね、トライアンドエラーで柔軟に機能改修を行える
- 設備の仕様に応じた項目の設定変更も容易で、本格運用後は現場作業員によるアプリ改修が可能

効果

- 点検結果をタブレットのアプリから入力することで、紙管理やExcel転記が不要となり、年間220時間以上の工数を削減
- 手書きや転記によるミスのリスクが低減し、データの信頼性が向上
- 異常値は赤色で表示され、アラートで即座に通知、履歴参照も容易で、調査対応が迅速化
- 点検精度の向上により、施設トラブルの予防に貢献。医療現場の安全・安心にもつながっている



施設を巡回し、各種メーターの数値をタブレットに入力



前回の数値を自動参照し、当日の値との差分（使用量）を自動で計算



しきい値を超えた数値は赤色表示され、アラートが上がる



その場で過去の記録を確認し、トラブル疑いの調査に活用

ユーザーのひと言



本業の合間をぬってアプリを作成しましたが、ヘルプセンターの情報やサポートを活用することで、スムーズに現場への導入まで進めることができました。この取り組みは院内外の学会でも発表しており、施設管理に関する先進的な事例として注目を集めています。医療機関における施設は、患者様の健康や命を支える重要な基盤です。アプリ導入により業務効率が向上ただけでなく、施設管理業務の品質も大きく向上したと実感しています。導入後の軽微な改修については、現場の担当者が対応しており、現場主導の改善体制が整いました。今後は、効率化によって生まれた時間を活かし、より高度な施設維持管理に取り組んでいきたいと考えています。

社会医療法人大雄会 統括院長 高田 基志 氏

社会医療法人大雄会 法人本部 事業戦略課 信田 俊彦 氏（開発担当者）

社会医療法人大雄会 大雄会第一病院 事務部 次長 杉本 政夫 氏（導入時の施設管理グループ所属長）

社会医療法人大雄会 法人本部 総務課 施設管理グループ 係長心得 小関 新氏、横井 瑞生 氏

User Profile



社会医療法人

大雄会

所在地：愛知県一宮市桜一丁目9番9号

従業員数：1600名（2025年5月現在）

会社概要：「人類を救う」を使命に掲げ、急性期医療から在宅医療・介護までを包括的に担う地域密着型の社会医療法人として、病院・診療所・介護施設などを運営している。

URL：https://www.daiyukai.or.jp/corporation/